

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第67回研究会開催案内

日時：平成24年8月24日(金) 18:30 — 20:30

場所：エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国道沿いで隣接するビルです)

講師：(株)東京信華(大連信華信息技术有限公司の日本法人)営業部長

石塚泰二氏

略歴：大学で建築学を専攻後1997年米国に游学。1999年から2年間カリフォルニア州ロサンゼルスでのITベンチャー企業に勤める。その後活動場所を中国に移し、2002年から上海の広告代理店に勤務し、制作部長を務める。2004年には中国のソフトウェア産業のトップ企業・中軟国際集団に属し、大連を拠点にアウトソーシング活動を展開している大連信華信息技术有限公司に入社、DTP部門長を務め、2008年から日本法人の営業部長として日本企業に対するバックオフィス業務受託の窓口として日中間の業務連携を推進中。

テーマ：「BPO・総務も経理も中国へ～中軟国際グループと大連信華の業務～」

1990年代後半より、中国経済の台頭とともに東アジアに形成された巨大なSCM(サプライチェーン)は、単なる「ものづくり」の範囲を超えて、オフィス業務のあらゆる領域で、最適地を求めた国際水平分業体制が進んできている。BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシングと呼ばれるこのビジネスモデルは、元々は1980年代後半KODAKの業務改革を請負ったIBMの新ビジネスとしてスタートしたが今や、中国のIT企業が推進エンジンとなっている。

今回紹介する中軟国際は、中国IT業界の急成長企業で、現在従業員は約1万5000人、中国国内でのコンサルティングからソリューション、欧米・日本企業に対してのオフショアサービス、更には人材育成にも力を注いでいる。その中で、グループ傘下の大連信華は今年で設立20年目を迎える日本企業向けBPO企業、従業員は現在約1000名で単純なデータエントリー業務から、顧客固有のバックオフィス業務、高度なCAD設計業務と幅広く業務を受託している会社である。今回、BPOとは何かを含め、中軟国際グループ及び大連信華の業務と具体的な業務事例を紹介することで、今後の中国事業展開への参考材料を提供したい。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会